

交通安全活動「ハローセーフティキャンペーン」

日産は、日本において1972年から「ハローセーフティキャンペーン」という交通安全活動を、春・秋の全国交通安全運動と夏休み期間中の年3回実施しています。

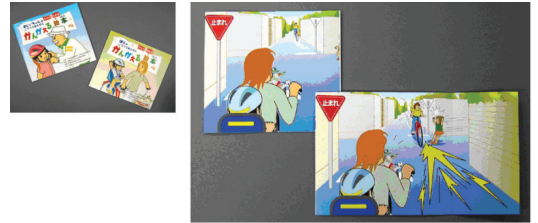
子どもとその保護者および高齢者の3世代が互いに思いやりを育める、地域に根ざした草の根活動を関係団体とともに進めています。

主な活動内容

●交通安全絵本

交通安全絵本を制作し、日産の事業所や販売会社各拠点から全国の幼稚園、保育園等に提供しています。また全国の交通安全協会1380地区で活用されています。

交通安全絵本



●交通安全番組

交通安全VTRを制作し、全国20箇所程度のプラネタリウムや全国の交通安全協会で活用されています。

交通安全番組



思いやり反射材ストラップ



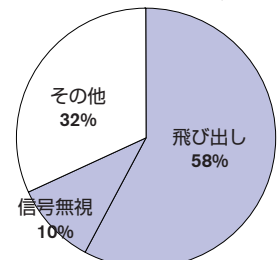
●思いやり反射材ストラップ

夜間及び薄暮時の視認性を高められる反射材を使ったストラップを制作し、全日本交通安全協会から配布しています。

●事故予防ポイントスクリーンセーバー

歩行中における子どもの交通事故原因1位は、「飛び出し」で5割以上です。(右グラフ参照) 子どもへの交通安全教育は、啓発ポイントを簡単にし、何度も繰り返すことが重要です。このため、スクリーンセーバーの連続的な画像表示切り替え特性を活かし、「飛び出しの危険性」を制作しました。対象は3～8歳児とその保護者です。他に、「信号機のある所での正しい渡り方」や「反射材の着用」などがあります。ダウンロードはこちらから。

歩行者の違反別交通事故比率(2005年)



出典：(財)交通事故総合分析センター

ダウンロードはこちらから。
こうつうあんぜん広場：<http://www.nissan.co.jp/KIDS/MOVIE2/>

「飛び出しの危険性」編

